

## 「サブサハラアフリカの初等教育普及政策下における教育の質に関する比較分析」

研究代表者:小川啓一(神戸大学大学院国際協力研究科教授)

### 事業目標:

本事業の目標は、次の4つとする。

- (1) サブサハラアフリカ地域における初等教育普及(UPE)政策における教育の質の分析についての共通の政策分析フレームワークを再構築する。
- (2) 現地調査を実施して、教育の質の問題点について分析する。
- (3) 同地域における UPE 政策下の教育の質に関する共通問題および各国に特有の問題を把握し、比較分析を行う。
- (4) 本年度の成果を報告書としてまとめる。

### 概要:

初等教育の質の分析を定量・定性的な分析手法を用いて下記のリサーチクエッションをもとに分析する。現地調査を中心に本研究を遂行するが、SACMEQ 学力調査のデータがある事例国ではこのデータも分析し、教育の質の問題について深く理解する。

- (1) どのような要素が生徒の成績に影響を及ぼしているか。
- (2) UPE 政策がどのように教員レベルに影響を及ぼしているか。
- (3) 住民参加がどのように教育の質に影響を及ぼしているか。

### 事業体制と研究対象国:

広島大学教育開発国際協力センターを中核に置くアフリカ・アジア大学間プロジェクトネットワーク(AA ダイアログ)と神戸大学大学院国際協力研究科のもつネットワーク(研究体制)をフルに活用する。

➤ 研究対象国は、ガーナ、ケニア、マラウイ、ウガンダの4ヶ国。



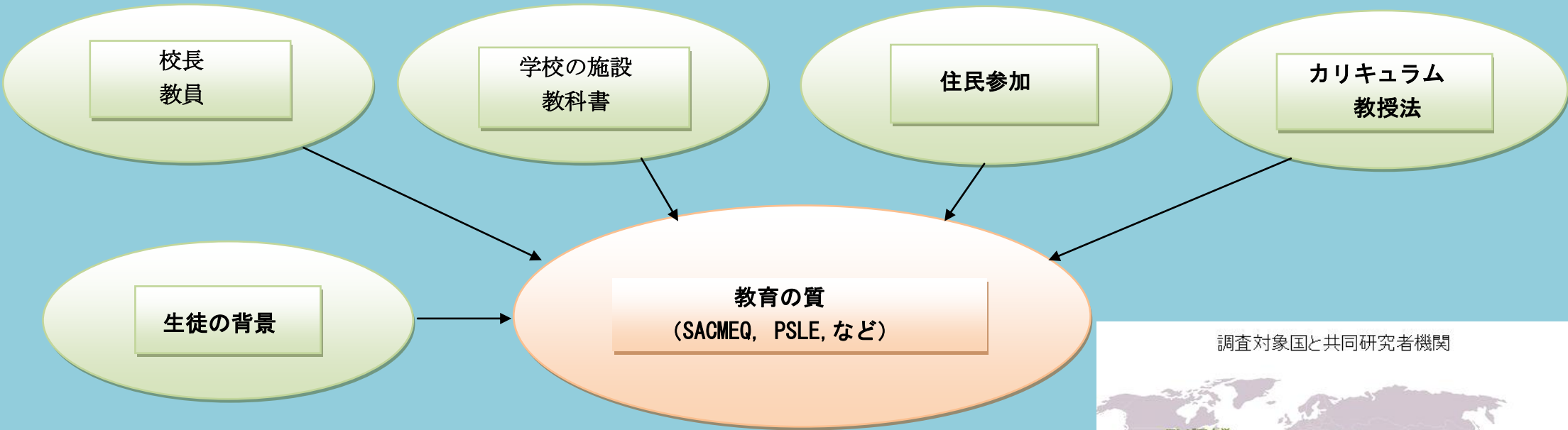
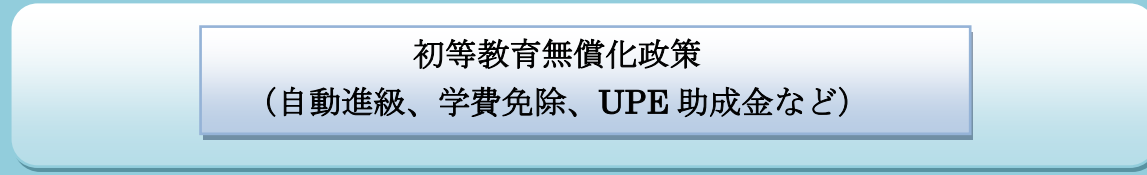
### 成果物:

- 比較教育政策分析フレームワーク
- 現地調査の結果を踏まえた報告書

「サブサハラアフリカの初等教育普及政策下における教育の質に関する比較分析」

研究代表者: 小川啓一(神戸大学大学院国際協力研究科教授)

研究のフレームワーク



事例対象国: ガーナ、ケニア、マラウイ、ウガンダ

